

☆ 会報「ちから」50年間継続発行

おめでとうございます。

50年と云えば半世紀、なんと素晴らしいことでしょうか。事務局はじめ関係の皆さまのご努力に頭が下がります。

静商OB関係にはこれまでも多くの会報類が発行されてきたでしょう。しかし、50年間も続くこともなく消えてしまふのが当たりまえで、他にまねの出来ない立派な偉業を成し遂げられましたことに敬意を表します。これほど長期間発行されるには、OB、会員の皆様方の深い友情と協力の精神、そして鋼の様な強い絆が「ちから」になってこそで、まさに「継続は力なり」の言葉を実証して云えるでしょう。私の所属したクラブでは、活動も続くことなく立ち消えただけに羨ましい限りです。

関西にも静岡出身者の集まりの「県人会」が大阪、神戸、京都にあります。その内、「大阪静岡県人会」は昨年創立100周年を迎えました。この会の活動の中心として「県人会だより」(B4版)を29年間に亘り唯一一人で取材、編集、発行を担当、しかも全号を手書きで280号まで発行した、静岡OBの新井皓之氏(56回卒)が、昨年、関西支部会合で会報「ちから」を拝見して、「まだ上があるのか」とつぶやいたことが印象的でした。

申し訳ないことですが、小生は静岡在学中(昭和30年56回卒)相撲部の存在を殆ど知りませんでした。それが4年前、現在は立命館大相撲部所属の山中未久さんが静岡在学中に、大阪府堺市の大浜相撲場で開催された、女子の全国大会に出場する情報を下村同窓会副会長様からいただき、関西支部では後輩の活躍を応援しようと呼びかけ女性も含め、10名程が駆け付け、SCの旗を振って声援したのが、ご縁の始まりでした。

その山中さんは今や関西では話題の人です。ある方によれば「Kテレビは山中さんを追っかけているよ」と言われるほどマスコミに登場しています。これまでも皆さんに情報提供しましたが、今後も可能限りご紹介していきたいと思っております。

最後に、先ずは400号を目指して、ご健闘をお祈りいたしますと共に、貴OB会の益々のご発展、ご活躍をお祈り申し上げます。

平成26年10月吉日 静商同窓会関西支部

富坂誠二

静商 溪声俳句会

去年の秋兄の傘寿の酒を呑み
托鉢のくぐもる声や歳の暮
終バスの酔客溢るる歳の暮
傘ぬらすほどには降らず時雨かな
本堂の寂れた寺や落葉散る
走り根に落葉嵩なす地藏堂
落葉して埋れし石に躓ける

岩崎 安次
高橋 璋
加賀美 幸
原川 芳朗
佐藤 康紀
永田 峰雄
牧田 秀峰

☆ 静岡市相撲連盟会長 川上明廣

ちから会会報50年おめでとうございませう

神田会長亡きあととは、順番として渡辺さん・吉永さん・岩崎さんの後に私と思っていました。市体協より新会長は70才未満の者との内示があり、結果私しが会長に就任しました。

神田さんの教えどおり、現場に手厚くをモットーに又、底辺拡大を目標にがんばっています。

本年の子供相撲教室の参加者は17名、参加者は静岡由比・清水、来年は小島町・西久保・袖師町・下川原などに働きかけて行く予定です。

相撲連盟は、ちから会の協力無しでは年間行事が出来ません。若いOBも40才になり、仕事も大変かと思いますが、ご協力是非、お願いします。

ここ、一、二年で連盟の役員をお願いするかと思えますが、その時は、気持ち良く引き受けてください。宜しくお願い申し上げます。

静商相撲部OBの皆様、今後共にご協力の程、心よりお願い申し上げます。

☆ 静岡市相撲連盟・ちから会会計 森本浩史

毎年の市相連・ちから会の会計報告の責任者として若輩の者が、会報についての感想を述べていいものか不安ですが、ご指名いただきましたので、感謝の意を表したいと思います。

会報「ちから」創刊五十周年おめでとうございませう。毎月送っていただく会報は、私よりもまず先に親が拝見するほど、家族共々楽しみにしております。これも記事を提供して下さる諸先輩方々、それを会報にして発送して下さった、歴代の事務局のご尽力の賜物だと思えます。

これからも会報が届くのを楽しみにしております。

☆ 望月健太君(入山保) 第3位入賞

第3回富士宮市幼児すもう大会が11月9日(日)富士宮北高で市内から幼児118名の参加で開催された。静岡市から特別参加の望月君、予選3回戦3勝で2次トーナメント戦へ、2勝し、決勝トーナメント戦へ、1回戦送り出し、準決勝押し出し、準決勝は天敵の二上君に下手投げで敗れ、第3位となった。(中村 武)

11月号2

第19回全日本女子相撲選手権大会

山中未久(立命館大) 5連覇成らず!

10月26日(日)全国各県より、選抜された小学生から一般まで159名が参加し、鳥取県立武道館で団体、個人の競技が開催された。この大会、5年連続優勝を目指した山中は、2回戦で不覚をとり敗者復活で3位になった。この級の決勝は、昨年と同じ山中・野崎の県勢同志の戦いになると期待していたが、残念な結果となった。野崎は右肩の脱臼をかかえながらも、自分のペースで勝ち進み、山中を破った。決勝戦林楓(鳥取)を寄りきり、見事、初優勝を勝ち取った。

団体戦も2連覇を目指し、昨年と同じ(先)野崎(中)山中、(大)松浦の布陣で臨んだが、準決勝で富山に0-3で敗れ、3位に終わった。試合後の山中は、「今までの大会の中で、最も口惜しい取り方だったと語ったが、その後すぐ「今から気持ちを切り替え、反省を練習に生かして、来年春の大阪国際大会、世界大会には絶対勝つ」との力強い言葉が返ってきた。

君が代が流れる中、表彰台の中央に立ち、センターポールに上がる日の丸を見上げる、山中未久の姿を楽しみにしたい。

(結果)

- 小学生5年(50kg未満) 3位 福里愛美(焼津西小)
- 中学生6年(50kg未満) 3位 鈴木小町(焼津豊田中)
- 一般超軽量級(50kg未満) 3位 松浦みな美(大井川中)
- 一般軽量級(65kg未満) 優勝 野崎舞夏星(浜松西高)
- 一般中量級(65kg以上80kg未満) 3位 岡田紘味(浜松)
- 一般無差別級 2位 松浦麻乃(県武道館)

☆ 国体報告記

大空で活躍する静岡OB

第69回長崎国体相撲競技が、45年ぶりに平戸市で開催され、静岡県選手団は10月11日14時発のFD A145便で静岡空港から福岡空港へ向かった。目的地に近づいてきた頃、CA(キャビン・アテンダント)の中でもひとときの美人の一人が、静岡相撲部監督の田中先生の席へ来て、何やら話しかけてきた。そのあと、やや興奮した面持ちの田中先生から、今来てくれた彼女は、櫻木幸子さんという、3年前の静岡卒業生で、という話しを聞き、この大空での思わぬハプニングに、先生・我々もびっくりするやら、喜ぶやら選手からもこんなすばらしい出会いがあるんだなと大いに盛り上がった。

3年前というと、相撲部の山中(113回卒)と同期ではないかと話しをする、商業科で隣のクラスであることが分かった。櫻木さんが気付いたのは、田中先生が選手団のチケットを「静岡商業」の名で申し込んであった為、これに気付き、機内に関係者が居ないかと探したところ、田中先生を見つけて、言葉をかけに来てくれたのであった。

彼女は卒業後、柚木の静岡インターナショナル・エアリゾート専門学校へ進み、CAの道を選んだとの事。(お父さん談)。これからも国内外含め勤務は大変だと思いますが、櫻木さんの笑顔でお客さんが楽しく、快適なフライトができるよう「頑張れ」と心からエールを送ります。こんなハプニングがあった為か、静岡県選手は、9年ぶりと少年(高校)、成年共に決勝トーナメント戦へ勝ち進み、少年は5位入賞という好成績をあげてくれました。

☆ 牧田秀二先生叙勲受賞を祝う会

10月16日(木) 牧田先生の「瑞宝小綬章」受賞を祝う会がクーパー会館で開催され、溪声会、静商で先生にご指導いただいた、55回、66回卒までの60名が、何はおいてもお祝いに駆け付けた。学校関係では原川元校長先生、初め、小関先生、伏見先生、川口先生、山田先生、事務局の服部さんも出席された。

相撲部関係では、宮城さん、SBSの杉田君等、各界活躍する多彩なメンバーで、和やかな祝賀会となった。昨年、米寿を祝う会が行われ、来年は卒寿を迎える事になります。これも又楽しみですね。

宴の終わりに、お孫さんから花束を贈られたあと、先生からいつもながらの、ユーモアを交えた牧田節の挨拶があり、我々に、笑いと共に活力をいただいた。

最後に、応援団OBのもと、校歌、エールを高らかに歌い散会となった。

柔道部の稲葉先生はあと少しで100歳、牧田先生も稲葉先生にまけずに100歳を目指しいつまでも健康でいて下さいと祈念申し上げます。

計 報

第64回(昭和38年卒)、静岡相撲部OBの滝口敦君が10月29日に逝去した70歳。滝口君は焼津中学相撲部から静岡相撲部に入り、川上明廣・池谷昌樹(故・馬場祥夫君達)と同期である。静岡から自力で明治大学商学部へ進んだが、下宿などの問題で昔から滝口家とは親戚づき合いをしていた。私の父が明大相撲部監督の滝沢先生にお願いして相撲部の合宿所へ入ることになり、部員として、2年間一緒に生活をした。

焼津からは次の年に焼津水産の、内田君が入部し、焼津勢が3名となった。

明治大卒業後は、焼津の柳屋本店に入社し、静岡の大先輩でもあり、相撲部員でもあった村松直衛会長に薫陶を受け、社業に努力し柳屋の発展に大きな貢献をし、専務取締役、又富士冷の社長としても手腕を発揮した。焼津市相撲連盟、県相撲連盟へも多大な協力・支援をいただいた事に、誠に感謝いたします。

11月3日近親者のみで葬儀が行われたが、通夜には、同期の静岡市相撲連盟会長の川上君が出席してくれた。12月10日に、焼津グランドホテルでお別れの会が行われるが、心からご冥福を祈ります。(以上・下村勝彦)

住居変更のお知らせ!

山梨在住の上杉隆信さんが11月23日(日)に静岡市駿河区広野へ引越してきました。又再び静岡の人となりましたので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

新 421-0121 静岡市駿河区広野5丁目
上杉 隆信